

家庭で準備しておく非常用品一覧表

下の表を参考に、必要最小限のものを非常持ち出し品としてリュックサックなどに入れておきましょう。

食料	米、缶詰、レトルト食品、インスタント食品、飲料水（1人1日3リットルが目安） など
照明・情報	懐中電灯、ラジオ、乾電池（予備）
応急医療品	家庭常備薬（鎮痛剤、消毒薬など）、包帯、ガーゼ、脱脂綿、三角巾、はさみ、とげ抜き、ピンセット など
加熱器具	卓上コンロ、ガスボンベ（予備）、固形燃料
日用品	マッチ、ライター、新聞紙、ロープ、ひも、粘着テープ、ペンチ、スコップ、ティッシュペーパー、ビニール袋、筆記用具、生理用品 など
衣類	下着、くつ下、防寒具、レインコート、軍手などの手袋、ハンカチ、タオル、毛布、タオルケット、シーツ、帽子 など
貴重品	現金（硬貨も）、印鑑、預金通帳、証書類、各種カード など
乳幼児のいる家庭	粉ミルク、ほ乳瓶、紙おむつ など

NTT災害用伝言ダイヤル 『171』

NTT災害用伝言ダイヤルは、大規模な災害が発生し、被災地への電話が繋がりにくくなった場合に提供が開始されるシステムです。被災地内の家族・親族・知人などの安否を確認できる情報手段の一つとして利用してください。利用にあたっての事前の契約などは不要です。



操作方法

録音の方法（無料）

171にダイヤルする
▼ガイダンスが流れます

録音の場合 1

▼ガイダンスが流れます

XXXXXXXX-XXXX
(被災者の市外局番からの電話番号)

録音時間は1伝言あたり30秒です。
自分の名前、健康状態、家族の状況、避難場所、家財の状況、今後の行動などを録音してください。
(保存期間は48時間です)

再生の方法（無料）

171にダイヤルする
▼ガイダンスが流れます

再生の場合 2

▼ガイダンスが流れます

XXXXXXXX-XXXX
(被災者の市外局番からの電話番号)

録音されているメッセージが再生されます。

提供開始のお知らせ

- テレビ・ラジオ・インターネット等を通じて、利用方法、伝言登録エリア等をお知らせします。
- NTTのネットワークから流すメッセージの中でお知らせします。

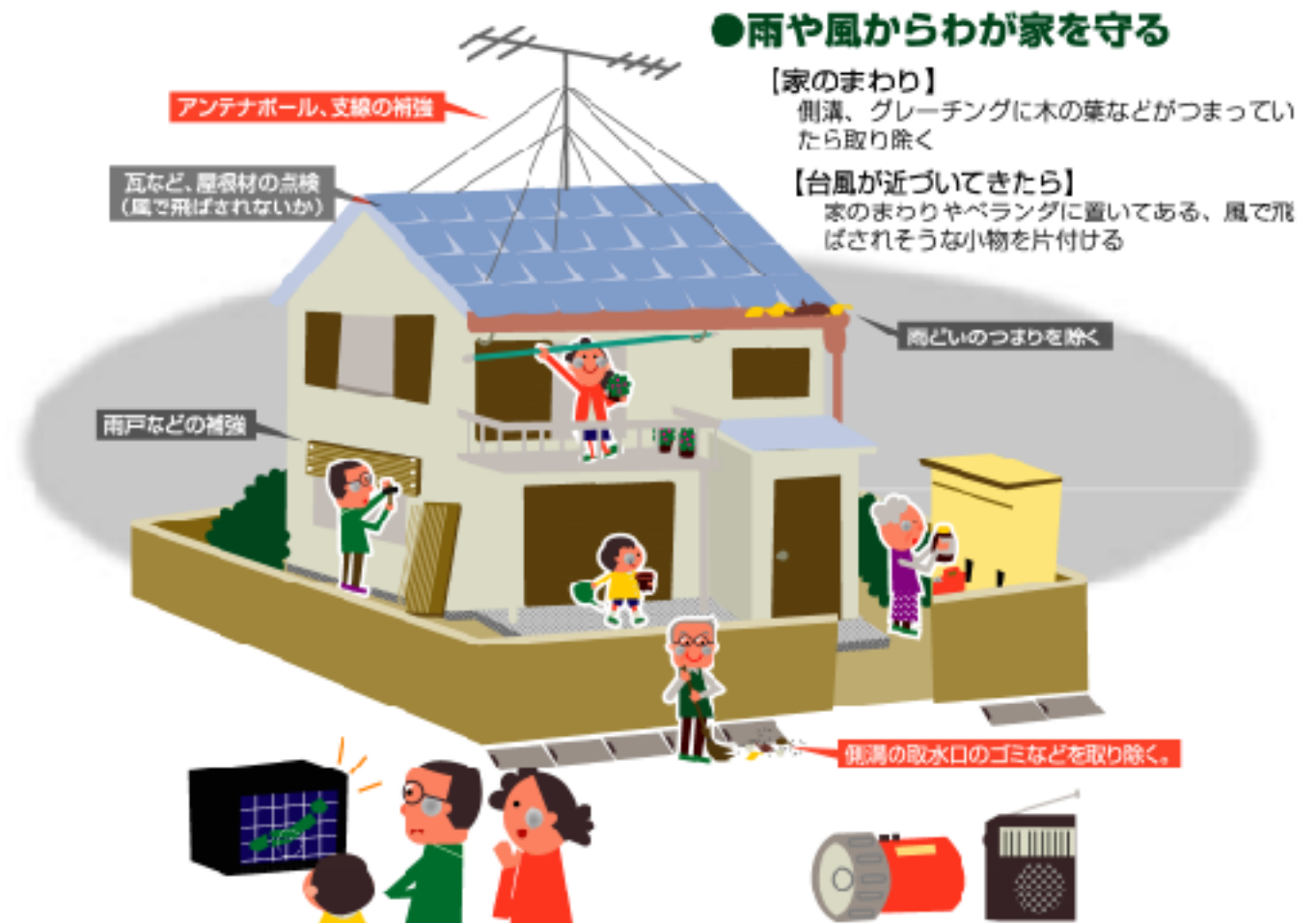
震度6弱以上の地震などの大きな災害が発生したときに、NTTドコモ、au by KDDI、ボーダフォンではそれぞれの携帯専用コンテンツやインターネットの「災害用伝言板」で安否情報を登録、確認することができます。

NTTドコモ <http://dengon.dccomo.ne.jp/top.cgi>
au by KDDI <http://dengon.ezweb.ne.jp>
ボーダフォン <http://dengon.vodafone.ne.jp>

ひばり放送について

ひばり放送（防災行政用同報無線）は、災害発生時や東海地震に係る警戒宣言が発せられた場合などに、市内にいつでも緊急放送を行います。このような放送以外に、日頃は市民の生活に関わる情報について放送を行っています。

わが家の防災対策 保存版



●雨や風からわが家を守る

【家のまわり】
側溝、グレーチングに木の葉などがつまっていたら取り除く

【台風が近づいてきたら】
家のまわりやベランダに置いてある、風で飛ばされそうな小物を片付ける

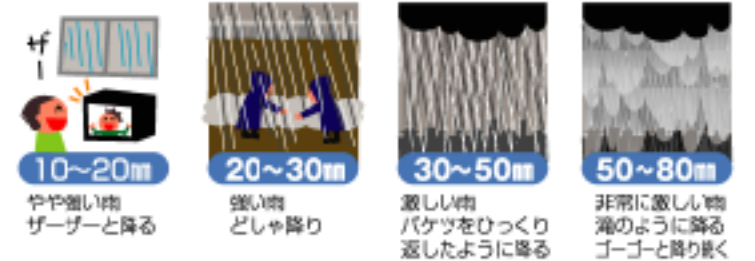
●テレビ、ラジオなどの情報に注意し、早めの対応を。

●停電に備え、携帯ラジオ、懐中電灯などを用意

雨量

降る雨が1時間に「流れ去る・土にしみこむ・蒸発する」ことをせずたままっていくとして、その深さをミリメートル（mm）の単位で表すのが「雨量」です。天気予報を見聞さずの時の参考にしてください。

★もしも浸水などのおそれがある場合は、お早めに、お近くの消防署・分署にご連絡ください。



雨と崖崩れの関係

大雨のピークから1時間以内、あるいは3~4時間を中心に崖崩れが発生しやすいことが統計的に知られています。このことは、雨のピークを過ぎてから1時間以内に崖崩れが起こらない場合でも、さらに4時間前後は注意が必要ということです。

○土砂災害

- 1) かけ崩れ・山崩れ** ▶ かけや山の斜面が急激に崩れ落ちる現象。地震によって起こります。
こんな前ぶれが… かけからの水が濁る。かけから小石が落ちてくる。
- 2) 土石流** ▶ 谷や斜面にたまった土砂や岩石が一気に押し流される現象。破壊力が大きいので、広範囲に大きな被害が出ます。
こんな前ぶれが… 山鳴りがする。雨が降り続けているのに川の水位が下がる。
- 3) 地すべり** ▶ 斜面の土壌が比較的ゆっくり滑り落ちる現象。一度に広範囲で発生します。
こんな前ぶれが… 地面にひび割れができる。かけや斜面から水が吹き出す。

台風・集中豪雨に備えて !!

世界有数の地震国である日本は、昔から地震による多くの被害を受けてきました。近年では最大の被害をもたらした1995年1月の阪神・淡路大震災や、2004年10月の新潟県中越地震などは記憶に新しいところですが、国内ではそれ以外にも、震度4以上の地震が毎年少なくとも30回程度発生しています。

相模原市域においても、東海地震や神奈川県西部地震などの切迫性が指摘されています。いつ起こるかわからない地震に対し、日ごろから十分な備えをしましょう。

地震発生! そのときの行動

<p>1 身の安全を確保</p> <p>とっさにテーブルなどの下に入る。家具類やガラス戸から離れ、座ぶとん等で頭を保護。</p> 	<p>2 脱出口を確保</p> <p>地震の揺れにより建物がゆがみ、出入り口が開かなくなることがあります。早めにドアや窓などを開けておきましょう。</p> 
<p>3 火の始末</p> <p>自分の家から火事を出さないようにしましょう。ただし、大きく揺れている間に無理して火を消そうとするとやけどをすることも危険です。まずは身の安全を確保してから火を消してください。</p> 	<p>4 状況に応じて避難</p> <p>火災の拡大、建築物の倒壊、地盤の崩壊など危険がせまったときには避難しましょう。そのような危険がなければ、出火防止や初期消火につとめてください。</p> 
<p>5 正しい情報を集める</p> <p>うわさやデマに惑わされないよう、ひばり放送、広報車、エフエムさがみ(83.9MHz)などのラジオ等で正しい情報を得ましょう。</p> 	<p>6 揺れを感じる</p> <p>立っていることが困難になる。固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。</p>

東海地震に関する情報体系と防災対応

東海地域の観測データに明らかな変化が現れた場合には国から「東海地震に関連する情報」が発表されます。これらの情報は、テレビ、ラジオ等で直ちに伝えられます。市でも「ひばり放送」でお知らせします。

情報名	主な防災対策
<p>東海地震観測情報</p> <p>東海地域の観測データに異常が現れているが、東海地震の前兆現象の可能性について、しばらく様子を見ないと判断できない場合などに発表するもの。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●防災対応は特にありません。 ●国や自治体では、情報収集連絡体制がとられます。テレビ、ラジオなどに注意して、正確な情報を把握してください。
<p>東海地震注意情報</p> <p>東海地震の前兆現象の可能性が高まったと認められた場合に発表するもの。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●東海地震に対応するため、次のような準備行動がとられます。 ・必要に応じ、生徒・児童の帰宅等の安全確保対策が行われます。 ・救出・救助、医療・救護、など防災に備えた準備行動が実施されます。 ●東海地震につながるかどうか検討する「判定会」(専門家6人で構成)が開催されます。テレビ、ラジオ、市の広報などの情報に注意し、国や市の呼びかけに従って地震への備えを開始してください。
<p>東海地震予知情報</p> <p>東海地震が発生するおそれがあると認められた場合に発表するもの。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●今後、数時間から数日以内に大地震が発生するおそれがあるという「警戒宣言」が、内閣総理大臣から発令されます。 ●国及び地震防災対策強化地域内の自治体では、地震防災警戒本部が設置されます。 ●津波やがけ崩れの危険な地域からの住民避難や交通規制の実施などの対策が実施されます。テレビ、ラジオ、市の広報などの情報に注意し、地震の発生に十分警戒して、国や市の呼びかけに従って行動してください。




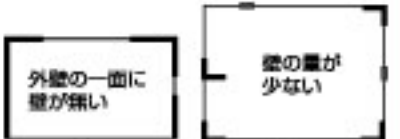


*東海地震前予測のための観測技術は年々進歩していますが、現状では事前予知ができる場合と、できない場合があります。事前予知の可能性に関わらず、いつ地震が発生してもしっかり対応できるように、日頃から備えておくことが大切です。

震度と揺れ方 (気象庁震度階級関連解説表より)

震度 0	人は揺れを感じない。	震度 5弱	一部の人は行動に支障を感じる。吊り下げ物は激しく揺れ、座りの悪い置物の多くが倒れる。窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れるのが分かる。
震度 1	屋内にいる人の一部がわずかな揺れを感じる。	震度 5強	非常な恐怖を感じる。多くの人が行動に支障を感じる。棚の上の物が落ちる。タンスなど、重い家具が倒れる。補強されていないブロック塀の多くが崩れる。
震度 2	屋内にいる人の多くが揺れを感じる。電灯などの吊り下げ物がわずかに揺れる。	震度 6弱	立っていることが困難になる。固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。
震度 3	屋内にいる人のほとんどが揺れを感じる。壁にある食器類が、音を立てることがある。電線が少し揺れる。	震度 6強	立っていることができず、はわないと動くことができない。固定していない重い家具のほとんどが移動、転倒する。多くの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。
震度 4	眠っている人のほとんどが目覚めます。吊り下げ物は大きく揺れ、座りの悪い置物が倒れることがある。電線が大きく揺れる。歩いている人も揺れに気づく。	震度 7	揺れにほんろうされ、自分の意志で行動できない。ほとんどの家具が大きく移動し、飛ぶものもある。ほとんどの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。

わが家の耐震診断をしましょう

①~③の中で1つでも該当するものがあれば、耐震性に問題がある可能性が高いので、さらに詳しい耐震診断をおすすめします。

<p>2 建物の形</p> <p>平面、立面の形が不整形。</p> 	<p>1 基礎</p> <p>コンクリート部分のひび割れ。柱、土台などが緊結されていない。</p> 
<p>4 屋根材</p> <p>重い材質を使っている。屋根材が屋根にしっかり固定されていない。</p> 	<p>3 壁</p> <p>外壁の一面に壁がなかったり、壁の量が少なかったりする。</p> 
<p>5 その他</p> <p>軟弱地盤、埋立て地盤、柱が傾いている、建具のたてつけが悪い、筋かいがない、部材が腐っている、白アリに喰われているなど。</p> 	<p>市では建物の耐震診断・改修について、電話や訪問などによる個別の勧誘はしていません。</p> 

旧耐震基準(昭和56年以前)の木造住宅の耐震診断・改修を支援します。

市では、昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅を所有し、住んでいる人に、住宅の耐震診断から耐震改修工事までの費用を助成する制度を設けました。

- 対象** 昭和56年5月31日以前の建築確認を取得した在来工法の一戸建ての木造住宅を所有し、かつ、お住まいの方。
- 申込み** 建築審査課窓口へ必要書類を持参の上、申し込んでください。
- 申込期間** 申込みは年度ごとに実施します。詳しい実施期間および内容については、市の広報紙・ホームページ等をご覧ください。

申し込み・お問合せ 建築審査課 (電話: 042-769-8254)
相模原市ホームページ「防災情報」
<http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/kurashi/bousai/bousai-top.html>